

目 次

講演用論文

1	松村博	「長谷川家文書」による木橋の細部構造の考察
9	五十畑弘	登録有形文化財森村橋の現況調査
15	中川明子・八島巧舎	岩国市周東町鮎原剣神社の穹崇橋に関する研究
25	榎本碧・樋口明彦・キムユニ	戦間期の英国における歴史的橋梁保全の展開
31	青木達也	鉱山に関する法規の変遷と足尾銅山の堆積場の歴史的位置づけ
39	伊東孝	世界遺産の中の土木遺産 －用語「技術, Engineerig, Technology」の比較検討と「Technology」の意味内容分析－
45	五十畑弘	稼動下にある土木文化財の評価に関する調査 ～世界遺産の事例を中心として～
55	阿部貴弘・北河大次郎・小野田滋 土田宏成・土井祥子・木村優介・西山孝樹	戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する基礎的研究（その1）
61	山田耕治	「バロック都市計画」の確立と海外植民地における展開についての研究
69	金井昭彦	トレイン・シェッドに関する考察
79	伊藤空・波多野想	新聞資料を通してみる九份における文化的景観の保存と開発
83	波多野想	開発初期の金瓜石鉱山における空間整備 －日本植民地下台湾における鉱山景観の形成－
91	西山孝樹・藤田龍之	鎌倉時代における土木事業と関連する官職について
99	堂柿栄輔・築瀬範彦	交通秩序の規範と日本人の法意識
109	山浦直人・小西純一	明治大正期の道路台帳図のなりたち －長野県土木測量設計図の調査研究－
115	土田宏成	国立国会図書館憲政資料室で閲覧できる 土木史関係資料について その4
121	島谷幸宏	秋月藩「女男石」の水利システム
125	大串浩一郎・谷陽介	嘉瀬川石井樋における流れと土砂輸送の特性について
131	春野正成・田中尚人	轟泉水道の維持・管理に関する歴史的研究
141	寺村淳	明正井路一号幹線第二拱石橋に関する一考察 －鉄管逆サイフォン石造アーチ水路橋と矢島義一－
151	中村幸史郎	石造めがね橋のアーチ設計に関する研究
155	島谷幸宏・林博徳	水城の水はどこに貯められたのか？
157	徳本裕也・岡田昌彰	戦前の阪和電鉄及び南海鉄道の競合的沿線開発に関する研究
159	武市賢人・真田純子	戦前期都市計画における路線的商業地域の起源
165	岩本一将・出村嘉史	明治末の岐阜における公園開発
169	林倫子	宇治川水力発電事業第一期工事における風致保護策の検討過程
179	島崎武雄	準備されていた近代日本の国土・地域開発（都市）
191	松長悠太・真田純子	戦前の都市計画区域決定における計画意図について －都市の拡大に着目して－

197	築瀬範彦・山本芳明・堂柿栄輔	土地区画整理による都市的土地利用の転換に関する制度的・技術的課題について
207	西村亮彦・曾根直幸 栗原正夫・木村優介	わが国における堀・垣類に係る伝統的工法の地域的な特徴に関する研究 - 土堀・石堀 -
211	石橋知也・小西圭介・柴田久	歴史調査にもとづく地域資源の活用可能性 - 福岡市中央区清川ロータリーを事例として -
219	倉岡宏宜・永村景子・谷越衣久子 辻喜彦・高尾忠志	土木遺産保存運動後の市民活動の促進 - 日南市堀川運河周辺における油津地域協議会による回遊プログラムの試行報告 -
223	山浦直人・小西純一	明治18年長野市第1次水道調査と古市公威 - 長野県土木測量設計図の調査研究から -
229	戸谷宥貴・樋口輝久・馬場俊介	高梁川東西用水における酒津樋門と各用水路の設計経緯
237	出村嘉史・長谷川真穂	岐阜市・稲葉郡の水系基盤形成（1920-1935）
241	中村晋一郎・沖大幹	確率主義萌芽期における基本高水 - 昭和29年白川改修計画を対象として -
251	安井雅彦・富永晃宏	河川法改正の経過と文献に見るその詳細
259	貴堂巖	常願寺川扇頂部川除の変遷と佐々堤
263	岡本修	港湾に関する歴史津波と被害
269	和田圭右・樋口輝久・馬場俊介	和歌山県における近世以前の津波遺産
279	安達實・村田晶・宮島昌克	藩政文書にみる富山大雪考

付 録

283	天野光一	委員長あいさつ
285	真田純子・岩本一将	優秀講演賞「受賞者の言葉」
287		土木史フォーラム（経緯およびNo.40）